

国立大学法人島根大学役員会（第397回）〈議事要録〉

日時 令和5年9月5日（火） 14:00 ~ 14:25
場所 本部棟5階 大会議室（TEAMS 利用）
出席者 服部学長，藤田理事，肥後理事，大谷理事，椎名理事，藤波理事，宮脇理事
オブザーバー 千家監事，栗原監事
欠席者 上野理事
〔陪席：企画部長，研究・地方創生部長，教育・学生支援部長，総務部長，財務部長
松江地区学部等事務部長，医学部事務部長，監査室長〕

報告事項1 地域中核・特色ある研究大学強化促進事業への申請について

- 服部学長から地域中核・特色ある研究大学強化促進事業について7月26日付けで申請を行ったとの報告があった。
- 千家監事から，材料分野については経済安全保障の観点で注意が必要となるため，適切にチェック出来る人材の確保が必要との意見があり，服部学長から経済安全保障については審査の対象にもなると考えており，体制強化を図っているところであるとの発言があった。

報告事項2 教育関係共同利用拠点の認定について

- 肥後理事から生物資源科学部附属生物資源教育研究センター隠岐臨海実験所が教育関係共同利用拠点として認定されたとの報告があった。

報告事項3 令和4事業年度 監事の監査報告

- 千家監事から令和4事業年度の監事監査について報告があった。

報告事項4 支援基金令和4事業年度 監事の監査報告

- 千家監事から支援基金に係る令和4事業年度の監事監査について報告があった。

報告事項5 全学委員会の議事報告について

- 書面による報告があった。

その他

- 宮脇理事から，大学と民間企業がプログラムを組んで学生に仕事をさせ，学生個人に給与が支払われるような制度があるかとの質問があり，服部学長から有償型インターンシップ制度があり，企業と学生間で雇用契約を結んだうえで企業側は学生を従業員と見なして社内の業務に携わらせ，学生はより実質的な業務体験をしながら給与を得ることが出来るとの回答があった。
- 宮脇理事から，報告事項1に関連して，本事業は是非成功して欲しいと期待しているが，研究成果が事業化される場合はマーケティングも重要となるため，その点も考えながら進める必要があるとの意見があった。